

熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

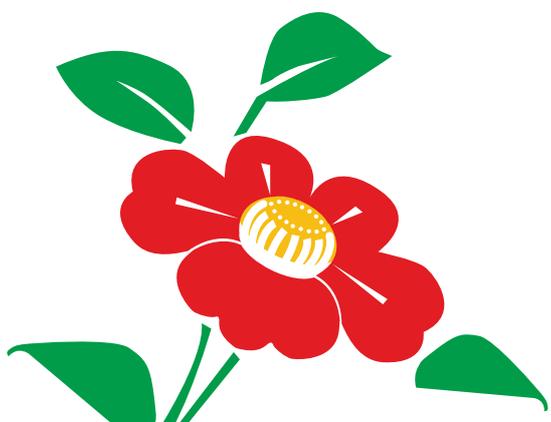
vol. 42

2022.2.2発行



CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子・大島敏子)・お知らせ	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ)	3P
秋の叙勲・県協会長あいさつ(本尚美)・看護連盟入会のお願い	4P
若手会員・新入会員オンライン研修会報告	5P
第8回県議会議員と看護職との交流会	6~7P
2021年度石田まさひろ参議院議員国政報告会	8P
2021年 第49回衆議院議員総選挙結果・玉名市議会議員選挙結果	9P
2021年度九州ブロック看護管理者等政策セミナー	10P
令和4年度熊本県予算要望書・看護職員の収入増に関する要望書	11P
入会会員数・お知らせ・編集後記	12P



熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長

矢野 メリ子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご清々しいに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスが全世界で発生し2年が経過しました、昨年末から新しい変異株オミクロン株の感染者が確認され、医療介護の現場では引き続きの対策が強いられ、緊張状態が続きますが、最前線で頑張っていたいただいている皆様にとりまして、新しい年が明るく笑顔の絶えない年となりますようお祈りいたします。

昨年は衆議院選挙の年でした。参議院議員たかがい恵美子先生が衆議院へ転戦され、比例代表中国ブロックでみごと当選を果たされました。これまでのたかがい先生の実績はもとより努力があったと思いますし、私たち看護連盟が支援を続けた結果だと思えます。阿部俊子先生も中国ブロックから当選されましたが、木村やよい先生は残念ながら当選は叶いませんでした。先生方の益々のご活躍を祈念申し上げます。

さて、今年はいよいよ参議院選挙の年です。看護職の政治への参加意識が試される時です。今年の干支「寅」は、「決断力と才知」の象徴、又「厳しい冬を越えて芽吹き始め新しい成長の礎となる」年だそうです。看護の代表を国会へ送るために、活動してきた3年間の思いを行動に移し、成果を出すために頑張る時だと思っています。皆様と共に目標達成のために頑張ってみましょう。

昨年1年間のご支援・ご協力に感謝し、本年も変わらぬお力添えをよろしくお願いいたします。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟
会長

大島 敏子

初春のお喜びを申し上げます。

昨年はCOVID-19が蔓延する中で、最前線で働く看護職の皆様が、安全対策に万全の配慮をし、きめ細やかな看護実践をされていることに、心からの感謝と敬意を表します。

また、49回衆議院選挙では自民党が単独過半数を獲得し、日本看護連盟においても、岡山三区の比例復活であべ俊子議員が、中国ブロック単独比例でたかがい恵美子議員が当選を果たしました。木村やよい議員は、選挙区では前回選挙より増票したにも関わらず比例復活が叶わず、残念な結果となりましたが、次期を目指すご覚悟と伺っています。皆様のお力添え、ありがとうございました。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて今年、第26回参議院選挙で看護職の代表を国会に送り出す、連盟本来の使命を果たす時です。

看護職給与の引き上げについては、当初の対象20万人を57万人に大幅に増員し、2～9月に国の補助金で1%程度の引き上げ、10月以降は3%程度を診療報酬に賃上げ分を上乗せすることになりました。この3%が確実に看護職の基本給アップになることを、各職場で見届けたいと思います。

今年の参議院選挙は、すべての看護職の賃金アップを実現させるための選挙です。日本看護協会と連携し、看護職の力を社会に示しましょう！

2022年の干支は、壬寅。「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」の縁起のよさがあります。よい年に致しましょう。

お知らせ

日本看護連盟通常総会

令和4年2月25日(金)

方法 未決定 (ハイブリット方式の可能性)

参加者 代議員・役員のみ予定

※新型コロナウイルス感染防止を鑑みて検討中

国会議員たより



衆議院議員
あべ 俊子

- ◎自由民主党
 - ・国会対策副委員長
 - (厚生労働担当、復興担当)
- ◎衆議院
 - ・外務委員長

新年あけましておめでとうございます。貴連盟の皆さまにおかれましては、日頃より看護の発展のためにご尽力を賜っておりますこと、お礼申し上げます。昨年も新型コロナ対策に追われた一年間だったと存じますが、皆さまのご協力のもとワクチン接種も進み、コロナ禍からの復興に光が見えて参りました。感謝申し上げます。

10月の解散総選挙では大変お世話になりました。私の力不足にて小選挙区での勝利は叶いませんでしたが、皆さまのご支援により衆議院議員6期目を迎えることができました。

岸田政権下においては、公定価格の見直しによる看護師賃金の段階的な引き上げが決定したところでございます。今後は全ての看護職への、恒久的な賃金引き上げを求め引き続き努力して参ります。また、今年には診療報酬改定が実施されます。新興感染症対応の他、医療従事者の負担軽減や、医療の効率化・適正化、タスクシフティングも重視される見込みです。先般のパンデミックでは、平時からの人員配置のあり方や、専門性の高い看護師の配置の必要性が明確になり、同時に、高度な技術・知識による看護提供が適切に評価されることが望まれています。地域・在宅療養を支えるための訪問看護ステーションの量的確保、質の強化も引き続きの課題です。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職を続けられる、そのような職場環境の整備に、貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。



衆議院議員
たかがい 恵美子

- ◎自由民主党
 - ・政務調査会
 - ・新型コロナウイルス等感染症対策本部副本部長
- ◎衆議院
 - ・厚生労働委員会理事

清々しく希望みなぎる新年を謹んでお慶び申し上げます。熊本県看護連盟の皆様には国民福祉の向上と看護政策の推進に変わらぬご支援を賜り心から感謝を申し上げます。また昨年は皆様の厚いご信任を得て、衆議院議員として新たな一步を踏み出す栄誉に与りました。

党内では引き続き、新型コロナウイルス等感染症対策本部の副本部長、こども・若者輝く未来本部の事務局次長を務めさせていただいております。また新たに、性的指向・性自認に関する特命委員会の委員長、人生100年時代戦略本部内に立ち上げられた女性の生涯の健康に関する小委員会の委員長を拝命しました。衆議院においては、厚生労働委員会理事、決算行政監視委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員に就任しました。

いのちの最前線に立つ一人ひとりの思いを胸に、これからも現場感覚を忘れず精励する覚悟です。また私たちの悲願である看護職の処遇改善が、現政権の公約として掲げられています。十分な成果を導くことができるよう、しっかりと戦略を練って、粘り強く着実に取り組みを進めたいと思います。政治活動をともしする私たちには、仲間や後輩たちの未来のためにやるべきことがあります。時間を要する課題もありますが、諦めず投げ出さず互いの知恵を持ち寄って、地道な活動の継続を大きな力へと変えて参りましょう。

皆様にとりまして幸多き一年でありますよう心から願い、初春のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員
石田まさひろ

- ◎自由民主党
 - ・参議院自民党国会対策委員会副委員長
- ◎参議院
 - ・厚生労働委員会筆頭理事

熊本県看護連盟の皆様、日頃よりご支援を賜り、ありがとうございます。

昨年も、新型コロナウイルスとの戦いの1年になりました。現場は緊張と不安、疲弊の連続だったことと思います。看護職たちは日々、精神をすり減らしながら懸命に日本の医療を守って下さいました。熊本県看護連盟の全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

また昨年は会員の皆様や看護職から届く現場の声を基に、厚生労働委員会の場で、厚生労働大臣に対し、「医療従事者への再度の現金給付等の手当の支給」や訪問看護の更なる活用、中等症患者向けの日帰り点滴センターの設置等を訴えました。今後、経口治療薬の普及やワクチンの3回目の接種が進み、現場の負担軽減につながっていくことを期待しています。そしてアフターコロナのスタートが切れるよう引き続き努力を重ねてまいります。

国会では再び厚生労働委員会筆頭理事、参議院自民党国会対策副委員長を拝命しました。国会の運営が円滑に進むよう、交渉役として今年も走り回ります。まずは診療報酬改定、看護職の所得向上を含む本予算の成立を目指します。

今年は参議院選挙の年です。私たちの力を結集し、看護の力を世にみせられるよう頑張っていきましょう。私も精一杯務め上げます。そして何より看護職が「今日も良い看護ができた!」と感じることのできる環境を作るため、身命を賭して頑張ります。

2021年

秋の叙勲 受章おめでとうございます

◆ 瑞宝双光章 河添 真理子 様

(前 熊本赤十字病院看護部長)

永年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

熊本県看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会
会長
本 尚美

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が確認されて3回目の新年となりました。コロナ禍は、人々へ不安・不自由な生活と医療への大きな負担を長期間にわたりもたらしています。現在、第6波の感染拡大が急速に広がり、皆様方の施設でも引き続き感染対策のために、緊張が続く毎日だと思います。長期にわたる対応で心身ともに負担が増大する中、看護職としての使命感を持って、病院をはじめ地域の様々な場所で現場を支えていただいている皆様に心から感謝の意と敬意を表します。県看護協会では、今後の対策として、県内の医療機関において新興感染症に伴う一時的な看護職員の不足による業務継続困難な状況が発生した場合の看護職の派遣調整に関して、県と協定を締結いたしました。

新型コロナウイルス感染症は、看護協会の事業にも大きな影響を与えましたが、会議や研修会にWEB開催の体制を整備し、皆様のご協力を得て多くの事業を中止せずに進めることができいております。

少子超高齢社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築を進める中で、急性期から地域・在宅看護、さらに災害や新興感染症への対応など看護へのニーズは益々高まり、看護職の確保や質向上は重要な課題となっています。

日本看護協会は、令和4年度から事業の枠組みを『重点政策・重点課題・基盤強化事業』に整理し、重点政策として、①全世代を支える看護機能の強化 ②専門職としてのキャリア継続の支援 ③地域を支える看護職の役割発揮 ④地域の健康危機管理体制の構築の4点を挙げました。また、国などに対して看護職員の収入増に関する要望を行い、閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に看護職等の収入引き上げが盛り込まれました。

熊本県看護協会でも令和3年度の事業評価を行い、令和4年度に取り組み重点政策・事業の策定を進めています。また、職能団体としての役割を果たすために、熊本県と自民党熊本県支部連合会へ令和4年度に向けての要望書を、熊本県看護連盟とともに提出して支援をお願いしました。

今年も県看護協会は、看護職一人ひとりが安心して役割を発揮できるように、看護連盟と連携して教育の充実と労働環境の整備、組織強化に努めてまいります。

会員の皆様方には、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

看護連盟入会 のお願い

看護連盟は看護協会と共同して活動し問題解決を図っています。しかし、現在の熊本県看護連盟の入会状況は熊本県看護協会員の約46%です。看護連盟は国民の健康と福祉向上のため、看護制度改革と労働条件の改善のため、政策決定の場である国政・地方議会に代表をおくり支援しています。看護職の未来のために是非看護連盟への入会をお願いいたします。

若手会員・新入会員 オンライン 研修会

テーマ **密に語ろう ～看護の声にZoom in～**

第1回

日時 令和3年9月24日（金）13:30～16:30

講師 青年部委員長 段下 健

参加 76名

第2回

日時 令和3年10月8日（金）13:30～16:30

講師 青年部アドバイザー 田中 裕貴

参加 114名



済生会熊本病院 田中 圭弥

看護師として働き始めた当初は、「看護と政治にどんな関係が？」と思っていました。連絡員などを経験し、診療報酬改定、コロナ禍の施策などに看護師国会議員の先生方が、大きな影響を与えていることを知り、看護と政治の関連に興味を持ちました。

今回の研修は7月から青年部活動に参加して初めての研修でした。段下青年部委員長による講演は、国会議員が法律改定にどのように関わっているのか、看護協会と看護連盟の役割などを学ぶことができました。

次に、グループワークでは参加者それぞれが日頃の看護で感じるジレンマや悩みなどを意見交換しました。働く環境が違う方々から初めて知る事柄が聞けてとても有意義な時間になりました。初めてのリモート形式で難しさもありましたが、活発なグループワークができたと思います。

若手・新人会員の多くに、政治に対しての距離感を感じます。看護と政治が密接に関連しており、政治に興味を持つことで看護の現場が変化することを伝えて行きたいと思います。少しでも興味を持って頂けると幸いです。

オミクロン株が日本でも確認され、依然として気の抜けない日々が続きますが、対面で意見交換できる日を待ち望んでいます。今回、研修にご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



人吉医療センター 佐藤 真耶

熊本県看護連盟青年部に所属し、初めての参加となりました。青年部に入っていないながら、看護連盟について全然知識を持っていませんでした。連盟の歴史や活動内容、看護の代表議員、選挙方法などについて分かりやすい講義をしてくださり、学びを深めることができました。講演後はグループワークを行いました。内容としては、日頃勤務をしていることで問題だと思えることを出し合い、法律名を決めるというものでした。他施設の方の意見を聞くことができ、また参加人数もとても多く、充実した意見交換となりました。Zoomでのグループワークであり、対面で行うのと違うため難しい面や大変な部分もありましたが、青年部役員と協力し無事に開催することができました。今回の研修を通して、看護師として働く上で環境改善のためにもっと活動していくべきだと考えさせられました。

最後に、なかなか収束しないコロナ禍が続いておりますが、直接皆さんにお会いでき、開催できることを楽しみにしております。今回研修に参加された皆様、誠にありがとうございました。

第8回

県議会議員と看護職との交流会

日時：2021年11月30日（火）12:00～13:30

会場：ホテル熊本テルサ たい樹

参加者

自民党県議 34名
 熊本県看護協会役員 2名
 熊本県看護連盟役員・支部長等 30名

来賓挨拶

自由民主党熊本県支部連合会会長 前川 収氏
 自由民主党熊本県議団団長 藤川 隆夫氏
 熊本県看護協会会長 本 尚美氏



矢野 メリ子氏



前川 収氏

テーマ「看護現場の現状と課題」

報告1

「超高齢化社会を明るい未来に
 ～病院の看護現場の現状と課題」

報告者：濱田 みね子氏
 (熊本4支部支部長 桜十字病院看護部長)



報告2

「地域ケアをになう訪問看護ステーションの現状と課題」

報告者：蓑田 純子氏
 (熊本3支部支部長 訪問看護ステーションまいん代表役員)



報告3

「看護師養成の現状と課題」

報告者：高島 和歌子氏
 (熊本県看護連盟監事 熊本看護専門学校校長)

意見
交換会

議員さんからのご意見等ありがとうございました。

- 看護養成学校・病院看護・訪問看護の3つが繋がっていて、なおかつ人的不足も問題である。これは給与だけの問題ではないことを県民も理解すべきである。
- 看護師に対して様々なイメージを持っていたが、今回の交流会で課題が多くあり制度設計をしていかなければならないと感じた。
- コロナ患者や救急患者の病床確保のため、後方支援病院・訪問看護・通所リハ等の役割が重要である。
- 学生3、4年生に対する支援をコロナ対策に合わせて考えている。
- 先進国でコロナ感染者数が日本は最も少ない。コロナワクチン接種で看護職の働きは大きかった。看護師の処遇改善が予算として組まれた。
- 5年一貫では専攻科になると住居・通学・学費等に年間100万円以上かかり負担が大きい。看護学生は他の学生と違い、アルバイトをする時間はなく、看護師不足を解消するためにも早急の対策が必要。
- 阿蘇・小国に産婦人科がなくなっているが来年阿蘇医療センターに開く予定（現在は1時間かけて通院している）
- 養成校で4～5年生で退学したり、新人が離職したり大変もったいない「何がそうさせるのか」疑問がある。

交流会に参加しての感想



県北1支部長 税田 葉子 (保利病院)

今年はコロナ感染拡大防止のために研修会様式で会場を設定し、看護職の現場での現状と課題について以下の方々から報告がありました。

訪問看護ステーションまいんの蓼田純子さんから、地域ケアの現状を報告され本来訪問看護の業務ではない選挙への投票支援や消費者センターへの連絡などもされていることに議員の方々はおどろかされていました。次に桜十字病院 看護部長の濱田みね子さんより、看護補助者の慢性的不足の中で海外事業部を設立され、40名の海外人材が活躍されていること。寝たきりゼロを目指して「生活行動回復看護 (NCID) の実践報告があり現役看護師も目からうろこでした。最後に看護教育現場から、熊本看護専門学校校長の高島和歌子さんより、専門分野の教育内容が多くなり実習時間が減り期待される看護師の養成に限界があり、教育期間を4年間に一本化して欲しいとの申し出がありました。さらには、専任教育養成体制の要望などもありました。医師と同じように「卒後研修制度 (看護版)」の設立が早期実現すれば現場でも安心して学ぶ環境が整備されるだろうなどのことでした。

その後15分ぐらいですが地元選出の議員さんと交流をして終了になりました。今までと違った報告会でしたが、参加された議員の方々に現場の状況と課題及び要望が届けられたことに良かったと思えました。この交流会がこの先も続くことを切に願います。



県北2支部 島 春代 (菊陽台病院)

熊本県看護連盟会長矢野メリ子氏より挨拶があり、その後自由民主党熊本県支部連合会会長前川收氏、自由民主党熊本県議団团长藤川隆夫氏それぞれから、コロナ禍の看護職への感謝の言葉とさらなる看護支援の必要性と政策を進めていくとの挨拶がありました。熊本県看護協会会長本尚美氏から、協会の現状と課題、協力連携等の話がありました。

その後3名の報告発表があり、熊本3支部蓼田支部長より「地域ケアを担う訪問介護ステーションの現状と課題」、熊本4支部濱田支部長より「地域に密着した病院の看護現場の現状と課題」、高島熊本看護専門学校校長・熊本県看護連盟監事より「看護師養成の現状と課題」と、それぞれの立場から、専門職として利用者や患者に寄り添った関わりや取り組みを紹介、又、看護教育現場の課題と支援要望の依頼など、共感や学ぶ事もあり、さらに看護に係る問題は多岐にわたる事を改めて実感しました。参加者からもとてもわかり易かったとの声が聞かれました。限られた時間でしたが、各選挙区毎の意見交換では、現場の悩みや思いを少しでも伝えることができ有意義な時間となりました。今後の課題対策は急務でありこの会がその一歩にでもなる事を願いたいと思います。



2021年度 石田まさひろ参議院議員国政報告会

Zoomによるオンライン研修

日時：2021年10月9日（土）10:00～11:45
参加者：123名



通常国会参議院本会議にて質問

内容

〈処遇改善について〉

岸田総裁が「看護・介護・保育に携わる人の所得向上に向け公的価格の在り方を抜本的に見直す」と所信表明をされた。看護協会や厚生労働省看護担当者とし話し合いを進め看護全体の処遇が引き上がるよう活動していく。

〈コロナ対応〉

国会では、コロナ対策に関して、筆頭理事として準備に走り回り厚生労働委員会を4回開催した。（通常1回程度）また、コロナ関係で本会議や委員会でも質問に立ち看護の現場の状況を具体的事例やデータを示し訴えてきた。

看護職に行った心の変調に対する調査結果で、看護職の4割がうつ病レベルのストレスにあることが分かった。このことを訴え医療従事者の心を守る支援、医療従事者に直接届く手当や慰労金などの給付金を求めた。

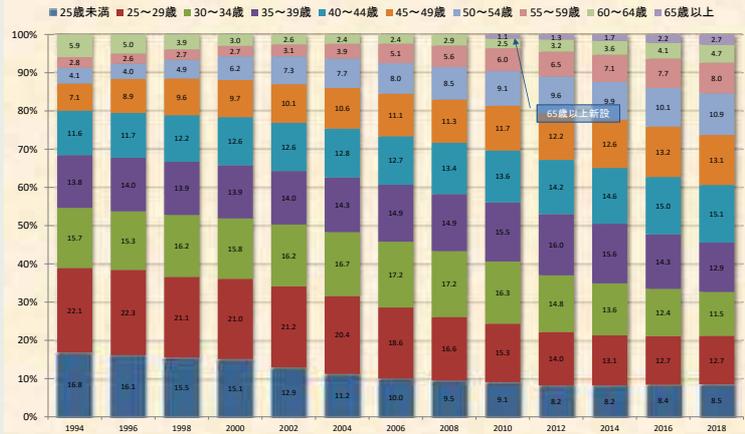
〈10年後の社会情勢、医療状況を見据えた対策〉

現在の問題を明確にして10年後の課題に向けた対策を行っていく。資質向上に向けた取り組みの強化が重要である。

看護師の年齢分布の推移

Changes in the age distribution of nurses

Last Update 2021.7.3

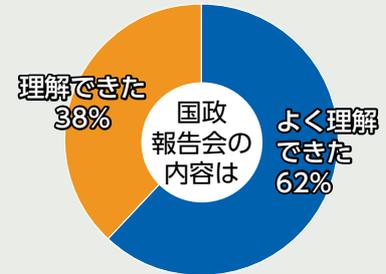
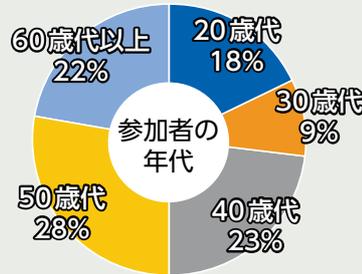


DATA：看護関係統計資料集より

Charting by MIKE ishida@mike.or.jp

参加者の感想（アンケート結果）

- 石田先生の国会での質問内容をお聴きし、よく看護の現場の状況を把握し国政に出していただいていることがわかり感動しました。これからも現場の声をあげていきたいと思えます。
- 現場に不安や不満を持つことはあるが、医療従事者への支援や政策を具体的に聞くことができ、これからも看護師として自分ができることを懸命に頑張りたい。
- 初めて国政報告会に参加させていただきました。政治について苦手意識がありましたが、実際の国会質問の様子を見て、活動状況を具体的に知ることができました。今回の内容を伝えていきたいと思いました。
- 今まさに、職場での人手不足、少ない人数でいかに質の高い看護を提供するかという問題に突き当たっています。国会でも真剣に対策を考えられている事を知り、もう少し頑張ろうと思えました。
- ぜひ給料をあげて欲しいと思いました。
- マイナンバーでの看護師登録や研修参加の履歴が残っていくような制度が作られると面白く、いいなと。また、研修が今後もZOOMなどで参加できるようになるといいと思いました。
- 看護の質をあげる努力や認定看護職の活動評価の可視化が求められていると感じました。現在、独自のデータで評価しているため、他施設との比較評価ができていない。標準化された指標があれば教えてください。
- 人口減少に伴い若い人だけではなく高齢者の人口も減る。色々な意味で看護の質を高める必要があること。日々の業務では深く考えることがなかったが、看護師一人一人の課題として考えていく必要があると思った。
- 在宅医療に力を入れていく重要性を理解できた。
- 未来の看護が「質重視」になる。看護職の役割も幅広く多様性が出てくると改めて認識し勉強になりました。
- これまでの経過からどのような対策を講じてきたか、また、将来に向けての方向性をわかりやすく説明いただいた。今後看護の研究が進むことが重要と感じた。そのためには大学等との研究者との連携も必要と思う。
- 国政での石田先生の奮闘されている姿が浮かぶようでした。大変分かり易く先生のお気持ちが伝わってくるものでした。ありがとうございました。





2021年 第49回衆議院議員総選挙

\\ ご当選おめでとうございます //

衆議院比例代表中国ブロックで当選



あべ 俊子 氏



たかがい 恵美子 氏



玉名市議会議員選挙 トップ当選(6期)

2021年10月24日

玉名市議会議長に就任 2021年11月17日

県内市議会の女性議長は3人目



近松 恵美子 氏 (看護連盟会員・元県北1支部幹事)

当選・議長就任おめでとうございます



真珠の命である「てり」にこだわって30年。万全のアフターサービスとワンランク上の真珠を提供し続けてきました。あこや真珠ネックレスはもちろん、普段身につけられるカジュアルなものまで多数取り揃えております。

お任せ下さい!
夢100%...心の栄養分
暮らしのコーディネート



〒862-0920 熊本県東区月出8丁目3-52

0120-32-2020

- 取扱品目
- 羽毛ふとん
 - ムートンカーペット
 - 真珠製品

2021年度 九州ブロック看護管理者等政策セミナー

期日 令和3年12月9日(木) 13:00～17:00・10日(金) 9:00～14:30

会場 出島メッセ長崎

目的

- 1) トップリーダーとして組織を強化し、自律した組織、会員を育成する。
- 2) 看護管理者等の政治への関心を高める。

研修内容

- 第1日目 (1)「日本看護協会の重点政策と重点事業」 講師：日本看護協会常任理事 鎌田久美子
 (2)「コロナ禍における看護基礎教育の現状と課題」 講師：長崎市医師会看護専門学校 第1看護学科教務科長 糟谷操子
 (3) 国政報告 講師：衆議院議員 たかがい恵美子
- 第2日目 (1)「看護の未来を作る」～看護連盟と対策～ 講師：日本看護連盟会長 大島敏子
 (2)「看護と政治」～組織は一つ、看取り一筋に走り続けて、いま93歳～ 講師：長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口ミユキ
 (3)「看護と法律」～コロナ禍における課題を中心に～ 講師：日本看護協会参与 友納理緒



「看護の質を高める」を繋ぐ

熊本4支部 桜十字病院 渡邊 智恵

セミナーでは、1946年(協会設立)から先人の看護職によって、看護職の待遇改善、看護制度の改革、看護教育などについて国政に働きかけられ、これまでの成果を成し遂げられた実績とその過程を詳細に知ることが出来ました。

看護の必要性と看護職能の尊さは今もこれからも変わらないと考えます。だからこそ先人の看護や職能に対する熱い思いを継承し発展を継続していく必要があると理解しました。更にそれを法律の面から実現させる事の出来る連盟活動(国政に看護師を送る)こそが最重要ポイントであると結論付ける事が出来ました。このことを理解すると自ずと政治との繋がりも理解出来ます。連盟会員が減少傾向にある昨今、大半の声はメリットが感じにくいという意見を多く聴きます。是非、現状の一点でメリットを見るのではなく、先人の御努力があつての今があるという事、あつて当たり前では無いという事、私たちには、後輩へ繋ぐ責任があるという事をご理解して頂き連盟活動への協力と協働が頂けるように活動する必要があると考えました。

連盟活動を今年度より承り、恵まれた環境で学習させて頂く機会を得ることができました。今回の研修が自己成長にも繋がったのではないかと考え、今後の連盟活動にも熱を持ち努力していきたいと思っております。ありがとうございました。



セミナーに参加して

県北2支部 熊本リハビリテーション病院 佐藤 並子

長崎県医師会看護専門学校教務科長の糟谷操子先生の講演では、コロナ禍で臨地実習に制限がある中、工夫を凝らして学内実習に取り組み、一定の教育効果を上げる事ができていること、一方で、限界があることなどについて学内実習現場の動画を交えて話をされました。今回、コロナ禍が看護基礎教育機関に与えた影響の大きさについて知ることができました。

2022年度から第5次改訂カリキュラムで看護基礎教育が5単位増となります。実習経験の少ない新人看護師や、新カリキュラムで学んだ新人看護師を受け入れていく私たち先輩看護師及び看護管理者は、看護基礎教育の現状を知り、課題に向き合い、自分たちの役割の大きさを自覚して取り組むことが看護の未来を創ることにつながるということを強く感じました。

今年は看護協会が看護連盟をつくって60年(還暦)になるということです。長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長の山口ミユキ先生が「看護と政治」「看護はひとつ」と何度も何度もおっしゃいました。この言葉を胸に、看護連盟の歩みを理解し、今後も支部幹事、そして看護管理者として、今回のセミナーの目的である政治への関心を高め、組織強化と会員の育成に努めて参りたいと思っております。この度はセミナーに参加させて頂きありがとうございました。



令和4年度熊本県予算要望書を提出しました

令和3年11月4日自民党熊本県支部連合会前川収会長を訪ね、熊本県看護協会長と熊本県看護連盟会長より要望の趣旨を説明し、要望書を提出いたしました。



1. 新型コロナウイルスの感染対策や災害の備えに係る予算の確保
2. 看護職員確保対策等の予算の確保
 - 1) 看護職員の県内就業の促進と働き続けられる職場環境づくりに関する予算の確保
 - 2) 看護職を志す学生への就学支援
 - 3) ナースセンター事業費の確保
 - 4) 病院内保育所運営費の確保並びに病児保育の充実に向けての予算の確保
 - 5) 学童保育施設の増設および質向上に向けての予算の確保
3. 看護の質向上のための予算確保
 - 1) 県内看護職員の継続教育体制整備の推進に係る費用の確保
 - 2) 専門性の高い看護職員の養成支援事業費の確保
 - 3) 介護施設で働く看護職員の人材育成のための予算の確保
4. 訪問看護サポート強化事業
 - 1) 訪問看護管理者の支援及び携わる看護職への人材育成についての予算の確保
5. 子どもと子育て世代を対象にした地域包括ケア推進に向けた予算の確保
6. 地域包括ケアシステム構築に向けた看護管理者及び行政保健師の連携の推進
7. すべての妊産婦が、産後に必要な産後ケアをうけられる体制整備の推進



看護職員の収入増に関する要望書

11月17日～12月13日、大島敏子日本看護連盟会長と福井トシ子日本看護協会長らが自民党政務調査会会長等、経済財政大臣、厚生労働大臣、岸田文雄内閣総理大臣に面談し「すべての看護職の賃金引上げ」を強く要望されました。

水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業所

〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号
フリーコール 0120-382808



カンタ君



レンコさん

2022年度の入会を受付けています。

早期の入会の手続きをよろしくお願い致します。

熊本県看護連盟事務局より

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう!

熊本県看護連盟の
目標会員は **7,500人**です!

年会費

日本看護連盟会費 5,000円

熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	H30年度	2019年度	2020年度	2021年度
看護協会(人)	15,723	15,866	15,880	15,820
看護連盟(人)	7,331	7,143	7,262	7,212
協会員比率(%)	46.6%	45.0%	45.7%	45.6%

お知らせ

◎リーダー研修

日時:令和4年2月19日(土) 会場:ホテル熊本テルサ テルサホール

※状況によりオンライン研修

◎熊本県看護協会・看護連盟合同研修会

日時:令和4年2月28日(月) オンライン研修(申し込みは、看護協会へ)

編集後記

2022年、今年は寅年です。どのような年になるのでしょうか。平穏で明るい年になることを祈るばかりです。広報誌「ひごつばき」が皆様により一層「分かりやすい」「読みやすい」と言って頂ける様にならばいいと思います。よろしくお願い致します。

○広報委員/貞松由紀江 守田 美紀 上田 瑞保 山本江梨子 林 和美

○担当役員/岩城まつ子 村上 元子

発行所/熊本県看護連盟

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号

TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163

E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp

HP <http://knf043.sakura.ne.jp/>

発行責任者
矢野メリ子